

迎春



「挑戦し・前進する 共生のまちづくり」

を目指して

月形町長 上坂 隆一

新年明けましておめでとうございます。

町長として2期目の新しい年を、町民の皆さまとともに迎えることができましたことを、心より感謝申し上げますとともに、輝かしい新春を迎えられましたことをお慶び申し上げます。また、日頃より町政に対しまして、ご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が世界中で蔓延し、多数の尊い命が失われることとなりました。日本国内においても、第2波・第3波と感染症が拡大する中、医療機関は疲弊し、また、医療従事者は自分が感染するかもしれないというリスクを背負い、懸命に患者の受け入れを行っていることは、大変頭が下がる思いであります。北海道内においても、札幌市との往來の自粛、札幌市の一部区域での飲食業の時間制限など、感染拡大防止対策を講じているところであり、このような状況下において、本町でも北海道の自粛要請に伴い、飲食業や観光業を中心に、大幅な減収を余儀なくされているところもあります。

昨年は、開町140年という節目の年であり、本来であれば福岡県中間市や新潟県旧月潟村の

関係者、近隣市町村の関係者のもとより、町民の皆さまと一緒に記念式典をお祝いする予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大幅に規模を縮小し、町内関係者のみの式典としたところがあります。他にも夏まつりやJ.R 札沼線の一部廃止のイベントなど、多くの事業が中止や縮小となり、楽しみにしておられた町民の皆さまには、大変申し訳なく思っているところがあります。

本年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により延期となっていた「東京オリンピック・パラリンピック」が開催される予定であり、日本人の活躍を期待し、日本中がコロナ禍で暗くなっている中を、明るく照らしてくれることを願っています。

私は、昨年の月形町長選挙において町民の皆さまをはじめ、各方面から力強いご支援と温かいご厚情を賜り、引き続き町政を担わせていただくこととなりました。町長としての責任の重さを痛切に感じておりますが、公約でもありません「誰もが安心して豊かに暮らせる共生のまち月形」を築くために、「町民すべての人に安心と笑顔」を届け、「誰もが安心して生活できる

環境づくり」「誰もがいきいきと活躍できる地域づくり」「未来を担う子供たちの育成と若者の人づくり」を目指し、町民の皆さまと一緒に「協働」し、「共汗」しながら、より良い町を一緒に作り上げていきたいと思っております。

昨年からJ.R 札沼線の一部廃止に伴う代替バスの運行も始まっており、町内の公共交通の整備も順次進めていくところがあります。人口減少が進んでいる中、本町の主要課題となる「地域拠点施設」「皆楽公園エリア」などの整備や、農業振興や商工業振興についても、限られた財源の中、優先順位を決め、町の発展、豊かな暮らしの実現を目指します。なお、全国各地から「ふるさと納税」で本町を応援していただける方が大勢おり、令和元年度は約3億円、令和2年度はこれを超す勢いで寄付をいただいている状況であります。この寄付金を貴重な財源として有効に活用させていただき、本町を応援していただく声にしっかりと応え、職員と一丸となり町の課題と向き合い、町長1期目の4年間で種をまいた「共生のまちづくり」を、50年後・100年後においてもよかったと思える町として結実させるため、町民の皆さまとともに取り組んでまいります。

結びになりますが、コロナに打ち克ち、本年が町民の皆さまにとって健康で喜びに満ちた実り多き1年であり、災いのない年になりますことを心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

副町長

堀 光一

教育長

古谷 秀樹

迎春



町民の皆さまにとつて 身近な議会を目指して

月形町議会議長 金子 廣司

新年明けましておめでとございます。
新しい年を迎え、月形町議会を代表いたしまし
て、心からお慶びを申し上げます。

町民の皆さまには、常日頃から議会活動に対
し、ご理解とご協力をいただき、さらに温かい
ご支援を賜っていることに対し、心から感謝を
申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス
イルス感染症に悩まされた1年でした。日本国
内においても感染者や死者が増加し、医療体制
に大きな影響を与えました。現在も感染が続く
中、日々医療の最前線で患者の方々の治療に尽
力されている医療従事者の皆さまに、心から敬
意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

また、国の緊急事態宣言による新型コロナウ
イルスの感染拡大防止対策により、外出自粛や
学校の休校、休業要請やイベント開催停止など、
生活や経済に大きな影響を与え、感染対策を日
常生活に取り入れた「新しい生活様式」への実
践が求められるなど、私たちの生活も大きく変
わりました。

本町においては、「開町140年」を迎え、
節目の年として関連行事が予定されておりまし

たが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、
規模縮小での開催となりました。さらに、町の
イベントや事業の大半が中止となったほか、J
R 札沼線北海道医療大学―新十津川間の廃止に
伴うラストランも突然の繰り上げとなり、町民
の皆さまにとって大変残念な年となったと感じ
ているところであります。一方、幸いにもコロ
ナ禍にあつて心配される大きな災害がなかった
ことが唯一の救いでありました。

本年は、昨年から延期となつている「東京オ
リンピック・パラリンピック」が開催される予
定です。新型コロナウイルス感染症が落ち着き、
「人類がウイルスに打ち克つた証し」として開催
され、日本人の活躍はもちろんです。が、選手を
応援する人々が、スポーツの感動を通じ一体感
を共有できるものとなるよう願っております。

近年、地方を取り巻く環境は、少子高齢化、
情報化など、著しい変化の中で、行財政、産業
経済、生活環境、教育など、どの分野において
も一層の充実が求められております。

このような状況の中、本町議会におきまして
は、議会改革を行い、改選後から議員8名で議
会活動を行っているところではありますが、平

素の活動のほかにも、より多くの方の声を聴き、
町民の声を議会から届ける努力をしております。
また、議会だよりを充実させ、これまで以上に
町民の皆さまにとつて身近な議会となるよう目
指しております。

今年、議員としての任期が折り返しを迎え
ます。現在、本町においては、地域拠点施設の
整備や地域公共交通の運行、町立病院のあり方
に加え、皆楽公園施設や学校施設の整備など、
重要な課題が山積しております。町議会として
重要なのは、町の施策のチェック機能として機能す
ることはもちろんですが、議会と町が、
町の発展のために同じ方向を向き、山積する重
要課題の解決に向けて、引き続き全力を尽くす
所存であります。

さらに、新型コロナウイルス感染症の蔓延に
より、生活に多大なる影響が及ぶ大変な状況で
はありますが、町民の皆さまと力を合わせて、
この難局を乗り越えたいと考えておりますの
で、町議会への変わらぬご理解とご支援をお願
いたします。

結びに、新しい年が町民の皆さまにとつて、
笑顔で過ごせる輝かしい年となりますことを心
からご祈念し、新年のご挨拶いたします。

副議長 大釜 登

議会運営
委員長 楠 順一

まちづくり
常任委員長

我妻 耕

堀 広一

議員 松田 順一

議員 東出 善幸

議員 若井 昭二